



さくらんぼ

仏教婦人会連盟
寺院女性会連盟

合同機関紙

発行所：

新潟教区教務所

長岡市与板町

与板乙 4356

TEL (0258) 72-2120

F (0258) 72-2536

たり前のような日々の暮らしの中にあります。この大会に参加しまして、私が強く、強く願うことは「世の中安穏なれ」ということです。



私の感動

与板組 蓮正寺門徒 小川愛子

平成二十三年五月十六日～十七日に、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要記念「第十四回世界仏教婦人会大会」に参加・参拝してまいりました。五十年に一度の大遠忌法要に、一生に一度のご縁をいただき嬉しく思います。

世界大会の記念対談で話された大平光代さんは、中学のときに壮絶ないじめにあつて自殺未遂、非行に走りますが、その後立ち直り弁護士になられた方です。私には、自殺を考えるまでに追い詰める子どものいじめとは何なんだろうと考えさせられます。大平さんは、人の痛みのわからない子どもに必要なのは宗教心、幼い頃から「目に見える世界が全てではない。目に見えないものがあるんだよ」という信じる



心の大切さを話されます。大平光代さんの生きる姿勢に感動しました。「東日本大震災で被災された方々の悲しみに寄り添い」と大会宣言いたしました。世界各地が地球の悲鳴のような自然災害に見舞われています。それぞれの方の幸せが、当



新潟教区仏教婦人会連盟・新潟教区寺院女性会連盟合同研修会に参加して

新潟教区寺院女性会連盟会長 高橋裕子

平成二十三年九月十九日に本願寺新潟別院本堂を会場として「新潟教区仏教婦人会連盟・新潟教区寺院女性会連盟合同研修会」が開催されました。講師に鈴木君代さんと天白真央さんをお迎えして、ライブ形式の研修会でした。

私は、寺役があり、途中からの参加でしたが、席に着くなりお二人の温かい歌声が心に染み渡り、涙があふれてきました。お二人は「自身の経験と、「いのち」をテーマとした曲を何曲も歌ってくださいました。それは、まるで法話を歌で聴いている様な感覚でした。でも、全く堅苦しくなく、温かみのある歌でした。私は、共感と感動で涙が止まりませんでした。



閉会式の時、私は「会長挨拶」で、感極まって泣き出してしまいました。大変申し訳なかったと思いますが、それ位良いライブでした。このご縁に感謝し、またお二人の歌声が聴ける日を楽しみに、念仏申していきたいです。

今年度の行事

与板組

○仏教女性会

※5月29日(日)

総会

※7月24日(日)

お念珠作りの研修会

※2月19日(日)

仏教女性会研修会「育ちあういのち」

○寺院女性会

※5月14日(土)

総会・茶話会(光西寺)

※9月27日(火)

精進イタリアンレシピ調理研修会

今年初めて調理に挑戦。精進料理でしたが、イタリアンのオリーブオイルでこくが増し、美味しいと好評。

※11月22日(火)

勤式研修会(浄秀寺)



長岡組

○仏教婦人会

※総会

※3年に1度大きな法話会を開催する。

今年新潟別院の謝恩講に参拝した。

○寺院女性会

※ボランティア活動(まちだ園)

毎月1回(第1木曜)に、タオル・ナイ

ロン袋のたたみ、繕い物のお手伝い活動。
※リサイクル活動

9月にリサイクル活動として毎年行っている使用済みローソクの回収。組内全寺院に声掛けし、今年は段ボール11箱分を吉運堂様を介してアフガニスタンへ送った。

※研修活動

「手塚治虫のブッダ〜赤い砂漠よ!美しく」の映画鑑賞(5月)

特別展「法然と親鸞ゆかりの名宝」の見学(11月)

元上組

○仏教婦人会

※6月18日(土)

仏婦連盟総会(専徳寺)

※7月9日(土)

さわやか講話会協賛(専徳寺)

※教区・組での各種研修会へ参加

○寺院女性会

※6月4日(土)

寺院女性会連盟総会・懇親会(彦三樓)

※6月18日(土)

仏婦連盟総会協賛(専徳寺)

※7月9日(土)

さわやか講話会協賛(専徳寺)

※9月5日(月)〜6日(火)

寺院女性会一泊研修(蓬平温泉)

※2月

平成23年度寺院女性会反省会

※各種教化団体の活動へ参加

三条組

○仏教婦人会・寺院女性会

※三条組「みのり会」研修会 11月24日(木)

東京国立博物館「特別展 法然と親鸞」

見学

・参加者 12名

・行程 築地本願寺参拝↓築地にて昼

食↓国立博物館「法然と親

鸞」見学↓東京にて夕食

日帰りでの行程ですが、博物館に多く

時間をとれる様になりました。いまままでに

ない特別展でしたので、皆楽しみにしておりました。

地藏堂組

○仏教婦人会

浄専寺仏教婦人会の

活動紹介

毎月15日：茶話会

年4回：境内の草

取り

年1回：寺院のお

みがき

8月21日：日帰

りバスツアー

(安田温泉やすらぎ)

○寺院女性会

※今年度の活動として、

平成24年1月14日頃、「親睦会」を予定。

内容は検討中。



新潟組

○仏教婦人会

※5月 総会及び研修会

・講師：西入寺 飛永賢一師

※10月 新潟組研修の旅(日帰り)に参加

・上越市浄興寺派本山浄興寺参拝

・上越市恵信尼公廟所多しんの里拝観

※1月～2月 研修会予定

○寺院女性会

※4月 総会及び寺院女性会研修会

※11月 寺院女性会研修旅行(1泊)

・特別展「法然と親鸞ゆかりの名宝」見学

・和田堀廟所参拝

巻組

○仏教婦人会

※4月12日 総会

※5月23日 春の研修会

※10月25日 秋の研修会

講師：雲林重正師
講師：麻田弘潤

○寺院女性会

※第1回研修会(6月23日)

|| 歎異抄に学ぶ ||

講師として、大願寺住職阿部文雄先生に1日昼食をはさんで「歎異抄」について講義をしていただいた。

讚仏偈のおつとめの後、午前と午後、約1時間半から2時間くらいのご法話。とても深いお書物で、到底時間が足らずほんのさわりだけでしたが、今後も続け

て内容を深めていきたいというきつかけになったかと思う。

とても有意義な1日を過ごすことができ、大変実りある研修会となった。

※第2・3回研修会(9月1日)

|| 仏教讃歌に学ぶ ||

講師として、福浄寺坊守藤由祐子先生からご指導頂き、仏教讃歌を練習しました。七百五十回大遠忌法要を記念して作られた「み教えをあなたと聴く」「親鸞さま」の2曲を選曲した。

「歌うだけでなく、その歌を通して作られた背景や歌詞の意味を理解したり、作詞者、作曲者の意図・思いなどを想像しながら、8月25日、31日の午後約3時間ほど練習して、9月1日には新潟あそか苑で発表する機会を頂いた。

利用者の皆さん、スタッフの皆さんにも喜んでいただき、共に楽しく心暖まるひとときを過ごさせて頂いた。



《仏縁結連盟第二十回若婦人中央研修会》に参加して

元上組 明鏡寺門徒 小林貴子

平成23年11月19日から1泊2日で、総連盟若婦人中央研修会に参加していただき、全国各地から57名の仏教会員が集いました。あいにく初日は激しい雨に襲われましたが、お堂の中はシーンと静まり返りとても神秘的な空間に魅了されました。

研修は本願寺の見学から始まり、教義や勤式作法を学び、そして班別話し合い法座を行いました。一人一人の抱える日常的な悩みや思いを班のみんなと受け止め、み教えに問い聞き、ともに考え、課題を共有していくものでした。私の悩みの悩みは、みな自分の日常生活の中の宗教について「どうしてこうなの?」という素朴な悩みを解決出来ず、行動に気持ちが伴わないまま生活しているといったような悩みばかりで、初めてお会いした方にもかかわらず、初めに花を咲かせていました。答えは解りませんが、皆悩んでいることは同じで自分だけじゃないという安心感や共感をもつことができ、心の安定を図れたような気がします。

毛利先生の「縁」という話に今回参加の機縁、お寺との関わりの機縁など、本当に知らない間に縁は広がっているのだと感じました。今回の研修会に参加したことで、同じ悩みを持つ方と普段、話題にしづらい宗教の話を中心に相談し合える機会を持つことができ、激しい雨の中で乗ったタクシーの運転手さんのやさしき、帰りの新幹線の隣の方との触れ合い、みんな阿弥陀如来様のお導きだと感じました。

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要



★団体参拝に参加して

元上組 託念寺門徒 堀井美子

今年は御縁がございまして、二度本山の法要に参加させて頂きました。一度目は、第十四回世界仏教婦人会大会で、五月十六日から十七日、新潟教区からは三十名で参加しました。国内外合わせて四千人以上の方々が一同に参加され、長きに渡り親鸞聖人のみ教えが全世界にまで根強く伝道されている事を強く実感させて頂きました。

二回目は元上組団参で十一月八日から十一日の三泊四日、総勢二百三十八名の参加でした。法要では、雅楽の荘厳な音色の後、三千七百人の宗祖讚仰作法の声に身の引き締まる思いがしました。聖人の教えの大事な点は人間の計らいを超えた阿弥陀様の智慧と慈悲のはたらかしを受け取って、お念仏によってこの人生を行き抜き往生成仏することです。日々感謝をしながら、生きたいと思えます。

五十年に一度の大遠忌法要に参加できました事を喜び、御恩報謝の生活を送り、子や孫にこのみ教えを伝えて行かなければと再認識させて頂きました。

今回の団参計画は三年前から、ご住職様を始め大勢の役員の方々の綿密な計画のお陰で全員無事帰ることが出来ました。深く感謝申し上げます。

ありがとうございます。

合掌



★団体参拝を終えて

巻組 願正寺 乙山由起子

十月十三日の夜明け前に出発。この日は大谷本廟の参拝のみという日程でした。翌日はいよいよ七百五十回大遠忌法要参拝で、お晨朝の阿弥陀堂は、多くの御門徒で一杯になりました。他教区のおそろく一期一会となるであろうお同行と、共に讚仏偈を称えながら、この度の参拝は逢い難くして逢えた法縁と、喜びを新たにしました。



午前の法要は厳かな雰囲気漂う中、修復された御影堂で行われました。初めて本山に参拝した御門徒は、一生の思い出になったと感激して、参加できたことを大変喜んでいました。この日は生憎の雨模様となり、昼食後に境内地や書院の見学をする頃には、傘なしで歩けないほどになっていましたが、参拝者の流れに沿って散策を楽しみました。私は蓮如上人の御遠忌にも参拝しましたが、その時は初めての引率で、御門徒の体調や迷子の心配に気を使っただけで、その時は初めての引率で、御門徒の体調や迷子の心配に気を使っただけです。この度の法要では、自分も同じ教えに生かされる同行の一人として、ゆったりとした心持ちで参拝することができました。

この法要に参拝された皆様の、五十年に一度のご縁に逢われた喜びが伝わり、それぞれに残る思い出を作られたことを嬉しく感じた団体参拝でした。

感想・ご意見等ございましたら、教務所(さくらんぼ)宛にお寄せください。